

二〇二三年度 学校推薦型選抜

経済情報学部経済情報学科 特別推薦

小論文 問題冊子（解答時間 九〇分）

注意事項

- 一 監督者の指示があるまでは、配布された問題用紙、解答用紙を開いてはいけない。
- 二 試験開始後、問題用紙および解答用紙がそろっているか確かめよ。
問題用紙（この表紙を含め 五 枚）
解答用紙（二 枚）
もし足りない場合は、監督者に知らせること。
- 三 解答用紙の受験番号記入欄に、もれなく受験番号を記入すること。
- 四 解答は、問題一は横書き、問題二は縦書きで記入すること。
- 五 解答用紙のみを提出し、配布された問題用紙は持ち帰ること。

問題一 以下の図表を用いて、読み取れることを300字以内で説明しなさい。なお、図はエネルギー自給率を除く表の数値を反映している。

図 第1次エネルギー国内供給構成（横軸：年度、縦軸：％）

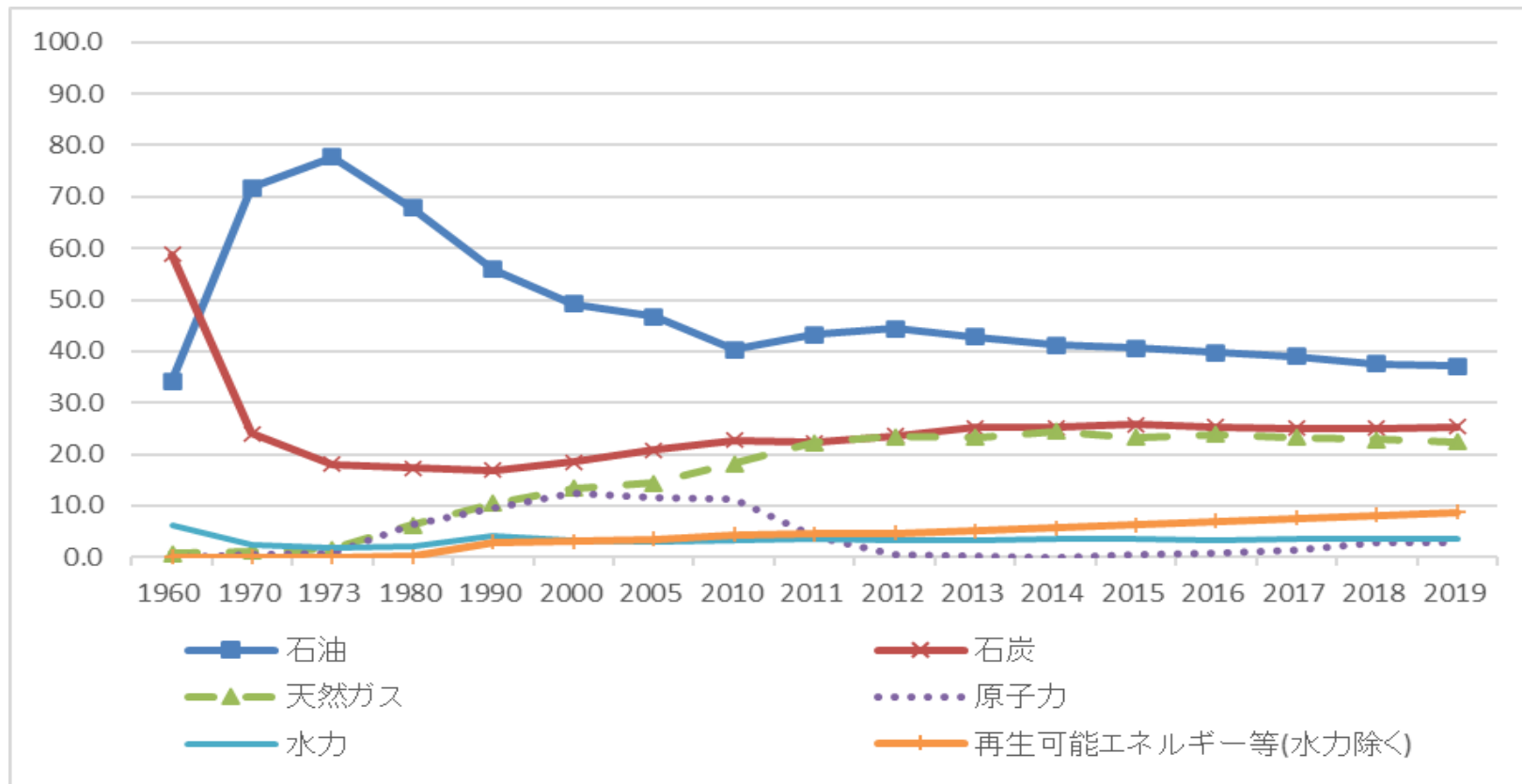


表 第1次エネルギー国内供給構成及び自給率の推移

		1960~2019は各年度																
		1960	1970	1973	1980	1990	2000	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
第1次エネルギー国内供給構成比率(%):全体を100とする	石油	34.2	71.8	77.7	67.8	56.0	49.2	46.7	40.3	43.3	44.5	42.8	41.2	40.6	39.7	39.0	37.6	37.1
	石炭	58.8	24.0	18.1	17.3	16.9	18.5	20.9	22.7	22.2	23.5	25.2	25.2	25.7	25.4	25.1	25.1	25.3
	天然ガス	0.8	1.2	1.6	6.2	10.5	13.5	14.4	18.2	22.3	23.5	23.3	24.5	23.3	23.8	23.4	22.9	22.4
	原子力	0.0	0.5	0.8	6.2	9.6	12.6	11.6	11.2	4.2	0.7	0.4	0.0	0.4	0.8	1.4	2.8	2.8
	水力	6.2	2.5	1.8	2.2	4.2	3.3	2.9	3.3	3.5	3.2	3.2	3.5	3.6	3.4	3.6	3.5	3.5
	再生可能エネルギー等(水力除く)	0.0	0.0	0.1	0.2	3.0	3.0	3.5	4.4	4.6	4.7	5.2	5.7	6.3	6.9	7.6	8.2	8.8
エネルギー自給率(%)		58.1	15.3	9.2	12.6	17.0	20.3	19.6	20.2	11.5	6.7	6.5	6.3	7.3	8.1	9.4	11.7	12.1

(注1) IEA は原子力を国産エネルギーとしている。

(注2) エネルギー自給率(%) = 国内産出 ÷ 第1次エネルギー供給 × 100。

(出典) 経済産業省資源エネルギー庁 HP「令和2年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書2021)」第2部 エネルギー動向
第1章 国内エネルギー動向 第1節 エネルギー需給の概要より、出題者がExcelにて算出。

問題二 一次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

老化に伴う症状を治療したり、老化を遅らせたりするだけならまだしも、老化を防ぐための予防接種をするなどという話を人にしたらどうなるか。「神にでもなったつもりか」とか、「母なる自然に反している」といった反応が返ってくるのが珍しくない。だが、百歩譲ってそうだとしても、人類が闘っているのは老化だけではないではないか。私たちは、母なる自然や神が与えたもうたあらゆる病をなくそうとしている。昔からそうだったし、これからもずっとそうしていくだろう。

一九八〇年に天然痘の根絶が宣言されたとき、当然ながら世界はそれを称えた。同じようにマラリアが地上から一掃されれば(数十年のうちにそうになると私は確信しているが)、国際社会は再び喜びに沸くに違いない。仮に私が、HIVのワクチンを今すぐ世に出せると発表したらどうなるだろうか。

「**自然に任せるべきだ**」と考える人は決して多くないはずである(少なくとも、まともな人なら絶対そんな風に思わないだろう)。もともと、今挙げたような病気は、以前から病気とみなされていたものだ。老化もまったく同じだとみなが納得するまでには、ある程度時間がかかるのは私も認める。

そこで、こんな思考実験を試してみたい。エアバスA380がロサンゼルスに近づいていると想像してほしい。これは二階建ての「スーパージャンボ」で、六〇〇人の乗客を満載している。この飛行機には着陸装置がなく、乗客はパラシュートを使って降りるしかない。ただし、飛行機の扉は一つを除いてすべて壊れている。そのため、乗客は一人ずつ順に扉から出るしかなく、アメリカでも有数の人口密集都市の全域に散らばることになる。

そうだ、いい忘れたが乗客は全員病気だ。ひどい病気なのだ。しかも、その病気は感染力が強い。まず倦怠感と関節の痛みに始まり、やがて耳が聞こえなくなり、目も悪くなる。骨は骨董品のティーカップのごとくもろくなり、耐えがたい痛みを伴う心不全が起きる。脳の信号伝達もうまくいかないため、自分が誰なのかもわからなくなることが多い。この病気を克服して生き延びる者は一人もおらず、苦痛のない死は無きに等しい。

さて、あなたはアメリカ合衆国に長いあいだ誠実に仕えてきて、ついにホワイトハウスの大統領執務室で執務機の前に座るまでになった。と、電話がなる。アメリカ疾病対策センター(CDC)の感染担当の責任者代理からだ。ロサンゼルス広域都市圏にたった一人でも乗客のパラシュート降下を許せば、何万人もの人々がこの病気にかかって死亡するだろうと告げる。ロスに降り立つ乗客が一人増えるごとに、予測される死者数は指数関数的に増加する、と。

受話器を置いたとたん、また電話が鳴る。今度は統合参謀本部長からだ。太平洋上を旋回中のエアバス機を、六機のF-22戦闘機が追跡しているという。すでに標的に照準を定め、いつでもミサイルを発射できる状態になっている。エアバス機の燃料は尽きかけている。乗客の命も、合衆国全体の運命も、あなたの命令にかかっている。

さて、どうすればいいか。

ご存じと思うが、これはいわゆる「**トロッコ問題**」の一種だ。「トロッコ問題」は倫理問題を扱

った思考実験であり、哲学者フィリップ・フットによって一般にも広まった。平たくいえば、できるだけ多くの命を救わなくてはいけないという社会的責任と、他者に危害を加えてはならないという道徳的義務を対置させて、どちらを選ぶかを迫るものだ。しかも、私にとっては使い勝手のいい比喻でもある。というのも、すでに読者も間違いなく気づいている通り、乗客がかかっている感染力の強い病気というのは老化にはかならないからだ。普通の老化より進行が速いだけである。

大勢の人に感染して命を奪ううえ、身の毛もよだつような症状まで伴う。そんな病気だと聞かされたら、飛行機を撃ち落とす命令を下さない人はまずいまいだろう。苦渋の決断ではあるが、数百万の命を救うためなら数百人を犠牲にするのはやむを得ない。

その点を念頭に置きながら、次の問いを考えてほしい。数百万人への感染を防ぐために数百人を犠牲にするつもりがあるなら、地球上のすべての人を襲う病気を防ぐためなら何でもしたいと思うのではないだろうか。

(出典 デビッド・A・シンクレア／マシュー・D・ラプラント／梶山あゆみ訳)

『LIFE SPAN 老いなき世界』東洋経済新報社(二〇二一年)を一部改変して出題)

問一 「①自然に任せるべきだ」とは具体的にどういうことか。五十字以内で説明しなさい。

問二 「②トロツコ問題」とは何かを説明したうえで、本文中で例示される③トロツコ問題とは、具体的にどのような問題なのかを二五〇字以内で要約しなさい。

問三 新型コロナウイルス感染症の蔓延する日本社会で生じている④トロツコ問題を一つ考えて一〇〇字程度で例示しなさい。

特別推薦小論文問題一

- ・経済産業省資源エネルギー庁「令和2年度エネルギーに関する年次報告（エネルギー白書2021）」第2部 エネルギー動向 第1章 国内エネルギー動向 第1節 エネルギー需給の概要より、筆者が一部変更の上、出題

【出題意図】

- ・受験者の図表データに関する読解力および要約力を検査する。

【解答のポイント】

- ・読み手に分かりやすい、伝わりやすい説明ができているか。
- ・図表から数値の傾向的狀況を把握し、それらが文章として適切に反映できているか。
- ・図表を説明する際、その背後にある時事の把握が適切に表現されているか。
- ・定義に関して、適切な解答ができているかどうか。
- ・「供給」や「エネルギー自給率」「輸入」という用語を用いて、その動向が、一次エネルギーの構成項目の動き（解答例の二重線）と関連付けられていることを説明できているか。

【解答例】

わが国では、高度経済成長期にエネルギー需要が増す中で、供給側は石炭から石油への燃料転換が生じ、石油が大量に輸入された。表が示すように、1960年度には石炭や水力等国内の天然資源で一次エネルギーの58.1%を賄っていたが、その後エネルギー自給率は大幅に低下した。また、図表が示すように、石炭・石油だけでなく、石油危機後に普及が進んだ天然ガスも、ほぼ全量が海外から日本に輸入されている。2014年度は原子力の発電量がゼロになったこともあり、エネルギー自給率は過去最低の6.3%に低下した。その後は再生可能エネルギー導入や原子力発電所の再稼働が進み、2019年度のエネルギー自給率は12.1%に回復した。（二百九十九字）

特別推薦小論文問題二

・デビッド・A・シンクレア／マシュー・D・ラプラント／梶山あゆみ訳『LIFESPAN

老いなき世界』東洋経済新報社 二〇二〇年初版 二〇二一年七版 一部改変して出題

問一

【出題意図】

・受験者の読解力および要約力を検査する。

【解答のポイント】

- ・「どういうことか」という設問に「くこと」という形式で解答できているか。
- ・「自然」⇨罹ることは致し方ない病気（母なる自然や神が与えたもうた病）というニュアンスを解答に含めているか。
- ・「自然に任せるべきだ」とは、具体的に何について (III)、どうすべきこと (ワクチン接種すべきでない／ワクチンを発表すべきでない)を示す文章なのかを理解し、適切に説明できているか。

【解答例①】

IIIは母なる自然や神が与えたもうた病の一つであるため、ワクチン接種して予防すべきではないということ。(四九字)

【解答例②】

IIIは母なる自然や神が与えたもうた病の一つであるため、開発したワクチンを公表すべきではないということ。(五十字)

問二

【出題意図】

- ・受験者の読解力および要約力を検査する。

【解答のポイント】

- ・「どのような問題なのか」という設問の要求に対して「くという問題」のような形式で解答できているか。
- ・本文中のトロッコ問題を説明した文章（Ⅱ）できるだけ多くの命を救わなくてはいけないという社会的責任と、他者に危害を加えてはならないという道徳的義務を対置させて、どちらを選ぶかを迫るもの）を抜粋できているか。
- ・本文中のトロッコ問題で何と何が対置されているか（Ⅱ乗客の命≪S ロサンゼルス何万人もの命）を明確に説明できているか。
- ・パラシュート降下を許可して蔓延する病気（感染症）が「老化」であることを明記できているか。

【解答例】

トロッコ問題とは、できるだけ多くの命を救わなくてはいけないという社会的責任と、他者に危害を加えてはならないという道徳的義務を対置させて、どちらを選ぶかを迫るものである。本文中では、太平洋上を旋回中のエアバス機にミサイルを発射して六〇〇人の乗客のパラシュート降下を阻止する代わりに、老化という感染症からロサンゼルスの何万人もの命を救うか、六〇〇人のパラシュート降下を許可して乗客の命を救う代わりに、ロサンゼルスの何万人もの人々を老化という感染症の脅威に晒して死亡させるかを選ぶ問題となっている。（二四六文字）

問三

【出題意図】

- ・本文中で登場した概念を応用して考えることができるかを検査する。

【解答のポイント】

- ・読み手に分かりやすい・伝わりやすい表現ができているか。
- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延する日本社会で生じているトロッコ問題について、対立する二つの項目を明確にしながら説明できているか。

【解答例】

新型コロナウイルス感染症の死亡者を抑え込む代わりに社会経済活動を自粛して失業者が増加することを選ぶか、新型コロナウイルス感染症の死亡者の増加を許容する代わりに社会経済活動をこれまで通り送るかの問題。（九九字）